

**【品川神社】** 北品川の鎮守(北の天王様)

江戸時代には北品川稲荷社、品川大明神、天王社と称した。鎌倉時代の初め、文治3年(1187)に、源頼朝が安房国州崎大明神である、天比理乃命(あめのひりのめののみこと)を勧請。天正19年(1591)には、徳川家康から荏原神社とあわせて5石の社料の朱印を受けている。現在の社殿は昭和39年(1964)に新築。

富士塚: 塚は明治2年(1869)に築造。江戸時代から続く富士信仰の場で、現在でも山開き行事が行われる。(区の無形文化財)

東海七福神: 品川神社(大黒天) 養願寺(布袋) 一心寺(寿老人) 荏原神社(恵比須) 品川寺(毘沙門天) 天祖諏訪神社(福祿寿) 磐井神社(弁財天)

**【聖蹟公園・本陣跡】**

日本陣跡 明治天皇が休憩した行在所として使われたことから、「聖蹟」の名が残る。

品川寺の近くに新撰組が投宿した脇本陣「釜屋」跡も。

**【荏原神社】** 南品川の鎮守(南の天王様)

創建は和銅2年(709)、神社仏閣の数では都内有数の品川区でも、ひととき古い歴史と格式をもつ神社。創建当時は奈良吉野の丹生川上神社より高おかみの神(龍神)を勧請され、長元2年(1929)には京都八坂神社より疫病退散の守護神・牛頭天王を勧請。品川の総鎮守として源氏、徳川家、等の武家の信仰をうけた。

品川は目黒川を挟んで北品川と南品川に分かれ、今、荏原神社は目黒川の北にあるが、昔 川は北側を巻いて流れていた。

**【品川寺】** (ほんせんじ)

大同年間(806~810年)に開創された品川で最も古いお寺。本尊水月観音。 入口には、江戸六地蔵の一つが安置。宝永5年(1708)、に鑄造され座高2m75の青銅製。 大梵鐘は海外に搬出され不明となるが、昭和5年(1930)にジュネーブより贈還。

江戸六地蔵: 第一番 品川寺 第二番 東禅寺(浅草) 第三番 太宗寺(新宿) 第四番 真性寺(巣鴨) 第五番 靈巖寺(深川) 第六番 永代寺(深川)

**\*\* 勝島と平和島**

共に埋め立て地。勝島の埋め立てが終わったのは昭和17年時あたかも戦争の真っ直中。勝利を祈願して勝島の名を、平和島の埋め立ては昭和42年 地名は時代を物語る。